

高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」令和2年度末の現況と事業効果について

1. 現況

1) 概要

○本市にお住いの65歳以上の方を対象に、専用のバスICカード「シニア半わりりゅーと」や紙券「シルバーチケット」でバス運賃を精算することにより、運賃が半額となる高齢者おでかけ促進事業を平成28年9月から実施。

2) 目的

○超高齢社会が進展するなか、高齢者のバス利用によるおでかけの促進と健康寿命の延伸、医療費の抑制などを目的に、市内在住の65歳以上の高齢者を対象にバス運賃を半額とするもの。

3) 事業費

表 事業費の推移

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	14,509万円	25,591万円	25,889万円	24,292万円	17,492万円
備考	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額

4) 参加状況

○本市の65歳以上人口に占めるシニア半わり参加者数の割合は16.8%。

表 65歳以上人口に占めるシニア半わり参加者数の割合（参加率）

シニア半わり開始後の経過年数	1年目 (12ヶ月)	2年目 (12ヶ月)	3年目 (12ヶ月)	4年目 (12ヶ月)	5年目 (7ヶ月)
	H29.8月末	H30.8月末	R1.8月末	R2.8月末	R3.3月末
シニア半わり参加者数(A)	33,624人	36,984人	39,859人	39,705人	39,265人
65歳以上人口(B)	224,367人	227,448人	229,748人	232,318人	233,181人
参加率(A/B)	15.0%	16.2%	17.3%	17.1%	16.8%

5) 利用状況

○開始当初より1人あたりの乗車回数は増加傾向にあったが、令和2年度においては8.9乗車で、1年目と比較すると0.3乗車減少している（H28とR2の10月を比較）。

表 シニア半わり利用者1人あたりの乗車回数

シニア半わり開始後の経過年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	H28.10月	H29.10月	H30.10月	R1.10月	R2.10月
シニア半わり実利用者数(A)	18,924人	23,867人	25,649人	26,459人	22,248人
シニア半わり乗車回数(B)	174,602乗車	221,677乗車	244,616乗車	236,215乗車	198,092乗車
1人あたりの乗車回数(B/A)	9.2乗車	9.3乗車	9.5乗車	8.9乗車	8.9乗車

2. 事業効果【令和2年度アンケート調査より】

1) アンケート調査概要

- 調査目的：シニア半わりの参加者に対して、健康寿命の延伸などに関してアンケート調査を実施し、事業効果の検証を行った。
- 実施日：令和3年2月24日～3月7日までの12日間
- 調査方法：郵送配布、郵送回収
- 調査対象者：以下のとおり、令和2年10月末時点のシニア半わり参加者名簿から、無作為抽出。

表 配布・回答の状況

参加区分	配布数（抽出数）	回答数	回答率
参加者	約1,700人	約1,100人	約65%

※参加1年未満・参加1年以上それぞれでサンプル数を確保するため、参加1年未満・参加1年以上に半数ずつ配布。

2) アンケート調査結果

① おでかけ回数の増加（参加者・非参加者）

- バスでのおでかけ回数が増えた人、減った人の割合は、どちらもH29調査の非参加者よりもR2調査の本事業参加者の方が高い。
- 本事業によるバスの利用促進の効果がみられるが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、おでかけ回数が減った人の割合も増加したと考えられる。
- シニア半わりの継続参加者（参加1年以上）の増えた人の割合は約14%。
- 参加1年未満には劣るものの、継続参加によるおでかけ促進効果がみられる。

バスでのおでかけする回数は、約1年前から増えたか？

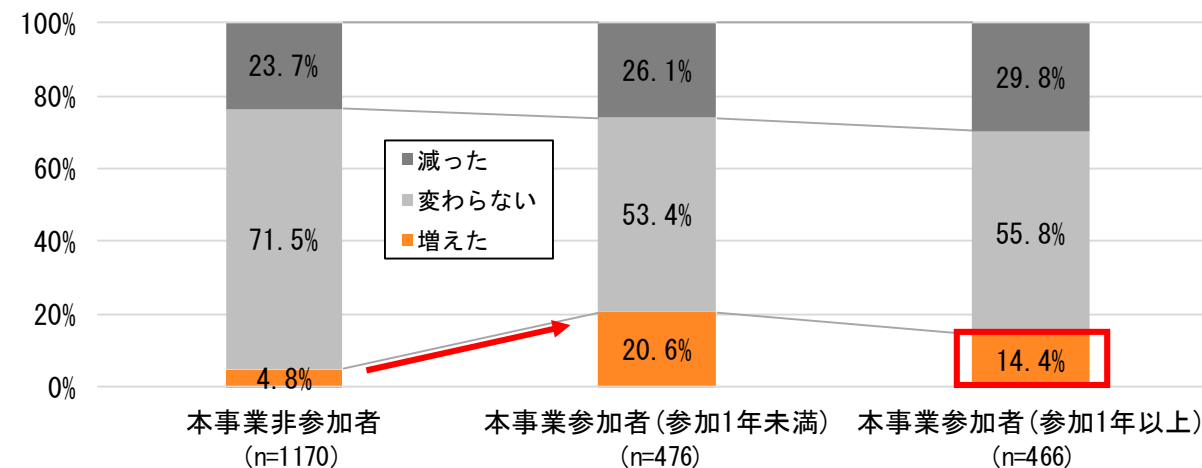


図 おでかけ回数の増減

② 買い物消費額の増加（参加者）

○シニア半わりの利用頻度が高いほど、**買い物消費額が増えた割合が高い**。
 ○利用頻度が週2回未満の人は、買い物消費額が減った割合のほうが高い。
 →新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛に伴い、買い物消費額が減少していると考えられる。

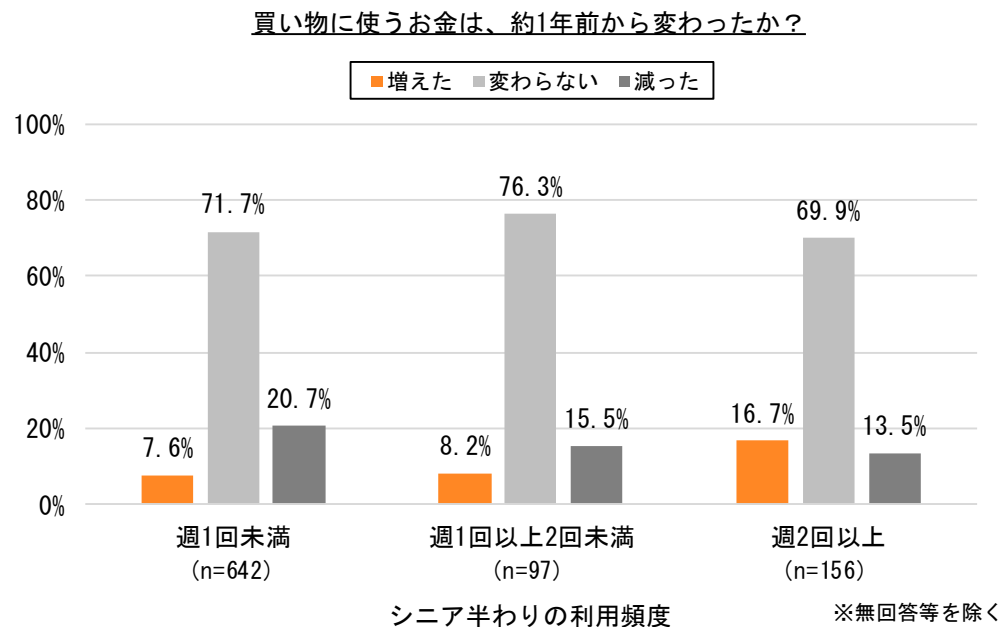


図 シニア半わり利用頻度別の買い物消費額の増減

③ 医療費支出の抑制（参加者）

○シニア半わりの利用回数によらず、医療費支出は増えている。
 →通院する機会が増加していることに起因されると考えられる。

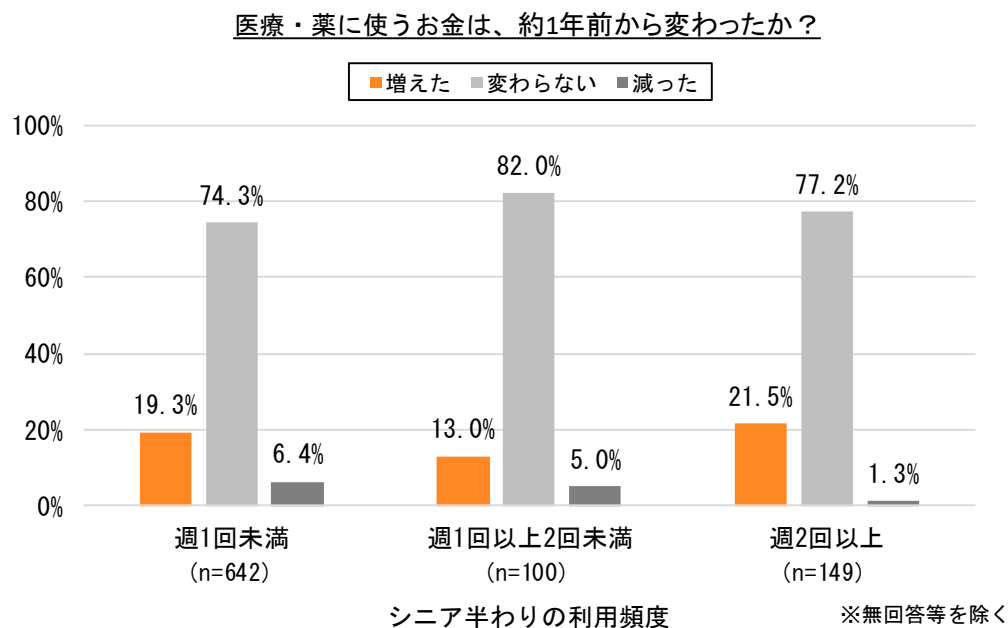


図 シニア半わり利用頻度別の医療費支出の増減

④ ICカードの普及（参加者）

○参加者の約4分の3が「シニア半わり」をきっかけにりゅーとを発行。
 →ICカードの普及に寄与している。

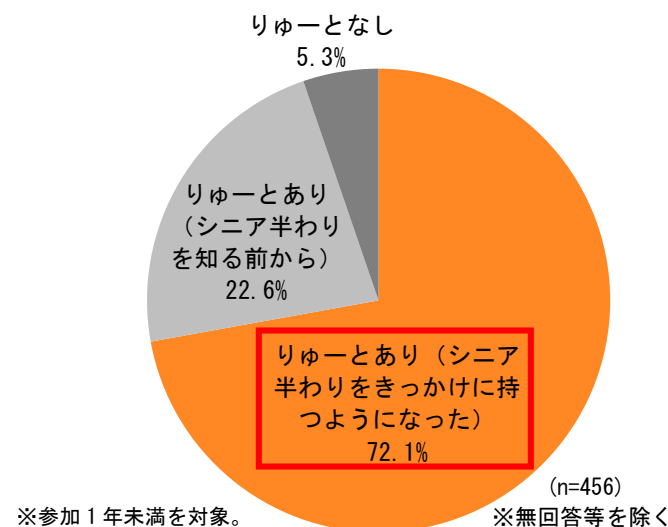


図 りゅーとの保有状況

⑤ 本事業についての満足度（参加者）

○参加者の約80%が満足またはやや満足。
 →不満またはやや不満は約6%に留まることから、本事業への満足度は高い。

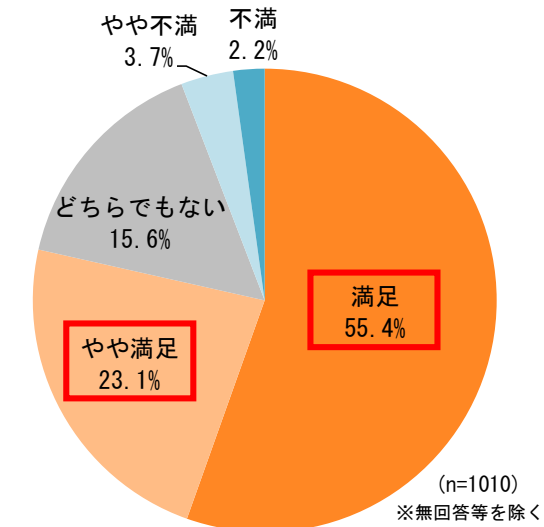


図 本事業についての満足度

⑥ 生活での変化（参加者）

○健康、生きがいや気力ともに、「わるくなった」と回答した人はほとんどおらず、「よくなった」と回答した人が約21~28%いた。
 →本事業が一定程度、生活面に良い変化を与えることができた。

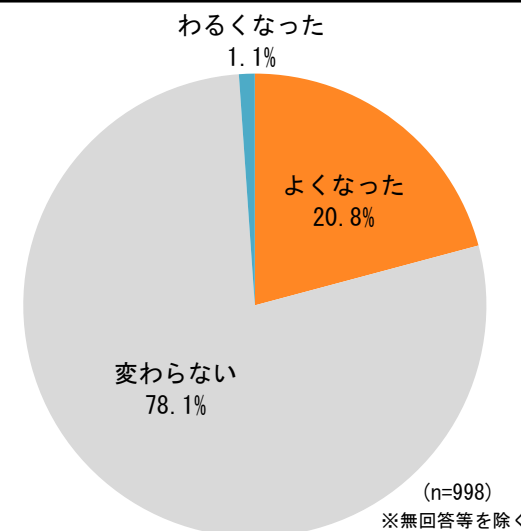


図 シニア半わり利用による健康の変化

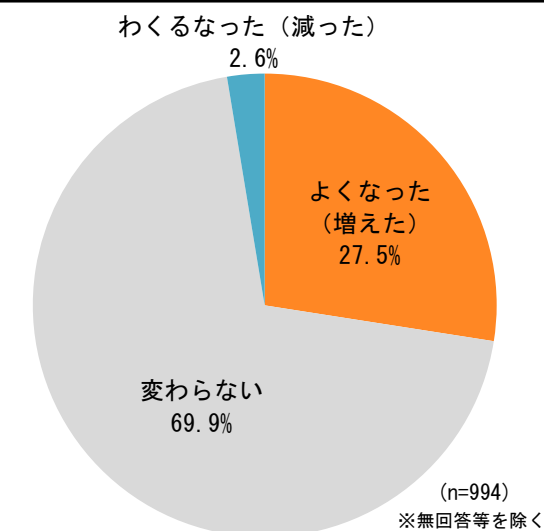


図 シニア半わり利用による生きがいや気力の変化

3) 事業効果のまとめ

○当該事業の目的である高齢者のバス利用による「おでかけ回数の増加」、「健康、生きがいや気力の変化」などの効果が現れていることが確認できた。
 ○ただし、令和2年度は参加者数や乗車回数が前年度より減少しており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、おでかけ促進などの事業効果が薄れていると考えられる。